

鼓童

2026

Summer

vol. 402

KODŌ



鼓童ワン・アース・ツアー2026
LUMINANCE(ルミナンス)
ヨーロッパツアー完走!

太鼓とオーケストラの邂逅
創立45周年記念公演

「モノプリズム」

——鼓童×東京フィルが響かせる音の宇宙

「モノプリズム」は鼓童の前身「佐渡の國鬼太鼓座」のため、50年前に作曲された。

日本の太鼓と西洋音楽とが融合し、太鼓を「楽器」として極めた傑作でもある。

今回は、数年に一度しか演奏されないこの曲の舞台裏に迫る。

構成:坂本実紀、編集部

写真:岡本隆史、迫水正一、

富田和明、鼓童



2021年10月 創立40周年 鼓童×東京交響楽団「いのち」より。以来、5年ぶりのオーケストラとの共演となる。

緊張の一打を、待て

「日本太鼓とオーケストラのための『モノプリズム』」は序14分、本編23分の二部構成からなる曲だ。「序」はオーケストラのみ。鼓童の太鼓は第二部「モノプリズム」から登場する。この冒頭からの十数分間、鼓童は舞台に板ついたままで、打ち出す時を待つ。

「これは作曲者の石井真木さんが私たちに課した座禅の修行なのか(笑)と思うほど『序』は座したまま待ちます。14分間のオーケストラの演奏が終わるとモノプリズム本編に入ってまだ少しオーケストラの時間があつた上で、ピタッと無音になります。そこから鼓童のピアノリッシュモが始まる。この緊張感と『あ、これが太鼓の音なんだ』という感動がある。しかも、そこが一番の難関なんです。入りで崩れたら、残りの十何分間、どれだけその後が良くても取り返せないほです」(船橋)

緊張の最初の一打。そこから、太鼓とオーケストラの融合が始まっていく。

オーケストラとの共演、 難しさゆえの醍醐味

難しいのは入りだけではない。太鼓の音の特性上、またそもそも鼓童自体指揮者に合わせることに不慣れでもあるため、指揮者が出した合図に対して音を出す際もオーケストラと太鼓では微妙にずれてし

まうことがある。それを埋めながら、どうアンサンブルとして奏でていけるかがこの曲の肝となる。

「オーケストラの皆さんにとって、僕たちの音はかなり異質な音だと聞きます。リハールでは『ここは音を抑えなくていいですよ』とか『ここは一緒に抑えなくちゃって抑えて』とか、指揮者から指示があり音を調整しながら作っていきます」(船橋)

限られたリハール時間も難しさに輪をかけて。本番までのリハールがわずかに1日半の時もある。

「驚いたのは、オーケストラの皆さんのリハールは時間でぴたっと終わること。個々で練習しその場で合わせる彼らに対し、鼓童は集団で稽古し練り込んでいく。オーケストラの皆さんとの毎回違う真剣勝負を継続してきたことは我々の強みです。また演奏中、僕たちは淡々と振る舞い感情を出しませんが、内側のエネルギーはものすごく大きい。本番では相乗効果で



熱が高まりますが、そこを指揮の下野竜也さんが僕たちを尊重しながら見事に繋いでくださる。その日にしか味わえない3者の融合が醍醐味です」(船橋)

石井眞木生誕90周年と 曲誕生50周年を祝して 原点へ

「モノプリズム」は完成当時、鬼太鼓座の野性味や情熱をオーケストラとぶつけるような作品でもあった。初演の指揮をした小澤征爾さんは「このパートは鬼太鼓座に任せる。でもちゃんと終わってね」という大きな流れだけを示し、野獣たちを暴れさせるような演奏をさせたと言われている。

石井眞木さんが亡くなったあと、楽譜に忠実にやるうということになり、その際に楽譜を読み解いてくれたのが今回も指揮者を務めてくださる下野さんだった。

今回は、石井眞木さん誕生90周年と曲の誕生から50周年を迎えるタイミングでもあり、公演では原点回帰を目指す。石井眞木さん自身が指揮をしている映像も振り返り、現在の演奏との違いや眞木さんの身体の動き、指揮の振り方、言葉も含めて、作曲者の意図と向かい合う。

また、今回のキーパーソンとして、1980年代から演奏者として参加し、様々な変化を身をもって感じてきた齊藤栄一が存在がある。
「どのような芸能でも、ある段階まで行く

オーケストラ×鼓童 ここに注目！

1 舞台上の圧巻な景色

開演と同時に、目に飛び込んでくるのは、70人を超えるオーケストラが並んだ圧倒的な光景。それに対し鼓童は7台の締太鼓、1台の大太鼓、3台の中太鼓とともに7人で舞台上がる。その対比にも注目。



2 指揮者の下野竜也さんへの厚い信頼

普段は交わらないオーケストラと太鼓演奏者。約80名の異種音楽家を統べ、曲を操るのは2008年から鼓童と長くお付き合いいただいている指揮者の下野竜也さん。下野さんの身体性や音楽との向き合い方が背中から見えてくると船橋は語る。



3 15年ぶりとなる 東京フィルハーモニー交響楽団との共演

東京フィルハーモニー交響楽団と鼓童はともに文京シビックホール事業提携アーティストで、共演は2011年文京シビックホール10周年記念特別演奏会以来15年ぶり。1日限りの両者のアンサンブルは見逃せない。

と『この曲をやる』というような到達点のようなものが存在すると思うんです。この曲も今は全員が必ず通るわけではないかもしれないけれど、各世代のメンバーが必ずここを通り、この音をつなげて、どんな新しいことをやっても立ち返る場所のような曲になっていくと思います」(船橋)

オーケストラとの共演は数年に一度。齊藤栄一にとっては最後のモノプリズムになるかもしれない。今回の公演は、鬼太鼓座と鼓童とつないできた演奏技術の貴重な伝承の機会だと言えるだろう。



- 1 今回のキーパーソンでもある齊藤栄一。1980年代からオーケストラとの共演に参加している。
- 2 限られた時間で行われるオーケストラの皆さんとのリハーサル(2021年「いのち」より)
- 3 1976年、小澤征爾氏指揮、タングルウッド音楽祭での「モノプリズム」初演の写真

知ると更に理解が深まる

鼓童とモノプリズム

1 モノプリズムはどのようにして生まれたのか？

1975年、初の海外公演を行った鬼太鼓座はアメリカ・ボストンシンフォニーホールで小澤征爾氏の前で演奏する機会を得た。

鬼太鼓座の太鼓を聴いた小澤氏が、ベルリンに在住していた友人の作曲家・石井眞木氏に電話したことから縁が繋がった。石井氏は早速佐渡を訪れ、翌1976年に「モノクローム」「モノプリズム」の2曲が生まれた。



ボストン・シンフォニーホールで鬼太鼓座の演奏を観る小澤征爾氏(左)と世界的ヴァイオリニスト、アイザック・スターン氏

2 誕生して50年、モノプリズムの初演はいつ？

1976年、タングルウッド音楽祭が世界初演。同年12月、東京文化会館で日本初演。1981年9月、ベルリン音楽祭がヨーロッパ初演(鼓童デビュー)

3 鼓童デビューで演奏した曲

1981年ベルリン音楽祭でベルリン放送交響楽団と「モノプリズム」を、ケルン現代音楽祭で「入破」を演奏した。



ベルリン音楽祭にてリハーサルの様子

石井眞木氏とモノプリズム

1 生誕90周年を迎える石井眞木氏とは

作曲家・指揮者。西欧的技法と日本の伝統音楽、「東西の音の出会い」を命題に、数多くの作品を発表。「モノクローム」「モノプリズム」のほか、「入破」やバレエ音楽「輝夜姫」、「虚空」などが鼓童のために作曲された。



1991年、ギャザリング公演の東京でのリハーサル。中央が石井氏。

2 モノプリズムはどんな曲？

第一部「序」の冒頭弱音は全体のオーケストラ音響を象徴し、アジアに伝わる響き、リズムを誘導。日本太鼓の

登場を暗示する。第二部「モノプリズム」の日本太鼓の最弱音は、東洋の太鼓伝統への挑戦を象徴。

日本人作曲家の優れた管弦楽作品(交響管弦楽曲)に与えられる賞「尾高賞」を受賞した。

3 石井眞木さんの語るモノプリズムとは

東洋の太鼓伝統には弱音一囁き、幽けき音たちは存在していなかった。太鼓は祭礼の中心で、強烈な響きと律動で天地をざわめかせ、霊を目覚めさせて来たのだ。太鼓を極限まで打ちつづける時、太鼓の響き―「人籟」は、自然界の響き―「地籟」へ変換する。最強音の連打に〈時〉は静止し、新しい響きが生じる。太鼓の〈凝固する時〉、〈堆積する響き〉、それをオーケストラ音塊が断ち切ろうとする…。〈人〉の行為による西洋の響きが、風が樹木に触れる響き―、火焰が燃え立つ響き―「人籟」「地籟」を超えた「天籟」すなわち〈大自然の鼓動〉と一体となる。



鼓童結成10周年を記念した「ギャザリング」公演でも「モノプリズム」を演奏。オーケストラとの共演という経験を次の世代へと繋ぐ貴重な1日となった。(東京・オーチャードホール)

知っとなるか～

佐渡 ええとこ

佐渡の魅力を身近に感じていただきたいコーナー！
今回のテーマは「佐渡のええ春！」
日々切磋琢磨する仲良し同期の準メンバー3人が、
佐渡の春の魅力をご紹介します！

今回の
ええとこは
ココ！

1

2 3



1 薪割り

タカギ キセキ
高木輝石

冬の寒さから次第に暖かくなってきた時に薪割りをすると春の訪れを感じます。時には硬い木に苦戦しつつも、綺麗に割れた時の爽快感と体の動きが太鼓に通じる感覚も感じながら割っています！

2 研修所の田んぼ（田植え）

キムラ ユツキ
木村優月

メンバー、スタッフもお手伝い。裸足で入ると冷たい水と泥の温かさが心地いいです！青空の下、何もなかった田んぼに、綺麗な緑の苗が揃う景色は春を感じます！



3 柿野浦の祭り

タナカ タイセイ
田中大成

冬の寒さを越え、研修所がある集落で開かれる春の祭りが大好きです。鼓童メンバーやスタッフ、研修生、地域の方々が集まり賑わう祭りは、温かい気持ちでいっぱい、今年も春が来た！と感じます。

作：宮崎正美



ぶたばなちゃん張り替え&体験ホールにエアコンを設置しました！

たたこう館での出来事やイベント情報などをお届けします！
今回は2つのトピックスをご紹介します！

1つ目、昨年破けてしまったぶたばなちゃんの革の張替えを行いました。まだまだ張ったばかりの硬い革になっているので、これから多くの方に叩いていただくことで、より良い音へと育っていきます。



▲ぶたばなちゃん



◀エアコン



▼ベビーシート

2つ目、太鼓体験を行うホールに3台のエアコンを導入！

そして多目的トイレにはベビーチェアとベビーシートの設置も行いました。

近年の気温上昇対策と、よりたくさんの方にご利用いただけるような環境づくりを目的として設置したものです。これにより、これまで以上に安心して体験やご見学をお楽しみいただけるようになりました。



鼓童つれづれ日記

メンバーの感性のままに、今の思いや出来事などを自由に綴るフリーページです。今号は、メンバー4年目の廣寄一馬が登場。自身の愛車について、その魅力やこだわりをたっぷり語ります！

Kazuma Hirotsaki

廣寄一馬の 愛車紹介!



MBTI●ENFP-T(運動家型)

MBTI診断とは…ユング心理学をもとにした16分類。性格の傾向と認知の癖が浮かび上がる。

好きな調味料●タバスコ

特技●サッカーのリフティング 3204回

長所●良い笑顔と言ってもらえることが多いです
段取りを組むのが好きです

短所●とてつもなく飽き性です
集中する時としてない時の差が激しいです

1965

VW Type1



＼ 僕の愛車の1965年式フォルクスワーゲン タイプ1を紹介します! ／

この車はドイツで大衆向けに1938年～2003年まで生産され、累計販売台数は約2,152万台と世界最多の数を誇り、現在でも世界中で愛されている車です!

僕が思うこの車の魅力は、上品さとかっこよさと可愛さ全てのバランスが取れているところです!

現在もパーツが豊富に出回っていて、自分の理想のカスタムがしやすいんです!

今履いているホイールは“BRMホイール”と呼ばれていて、カリフォルニアのドラッグレースで使われていました!

前と後ろのタイヤのサイズを変えて車体を前下がり気味にしているのもこだわりです! レース仕様にしても良し! ホワイトウォールタイヤでクラシックにするのも良し! という無限の可能性を秘めています。

ヘッドライトのまつ毛のようなものもパーツとして売られています!

今付いているパーツで65年式ではない物もいくつかあるので、それも正しい年式の物に付け替え当時の姿に近づけていきたいと思っています! どんな人がどんな生活の中でこの車と過ごしていたのかを当時の雑誌を見たりして想像したりすることも素敵な時間です。

エアコン、エアバッグ、ハザードランプ、バックランプなど現在では当たり前にある物もこの車にはありません。

簡単な作りでありつつ研ぎ澄まされた技術力が詰まっているところが鼓童と通ずるものがあると勝手に思っています。笑

どうしてこの車に乗りたと思ったかという点と完全に父の影響です!

太鼓も音楽もファッションも食も全てにおいて父の影響を受けて育ってきました!

高校生までは部活に打ち込む普通の学生でしたが、研修生として過ごす中で、自分と

いう人間を形作っていくうちに、「車」も自分を構成する大切な要素の一つだと気がきました。

鼓童メンバーになりタイプ1に乗るという夢を叶えられてとても充実した毎日を過ごしています。

海外ツアーではアメリカでパーツを買って帰るなど鼓童だからこそできることもたくさんあります。

次の夢はこの車の専門雑誌に取り上げてもらうことです。笑

これからも僕らしく頑張りますので応援よろしくお願いします!



次回つれづれ日記
担当メンバーは…

血液型はB型。利き手は左手。趣味は韓国ドラマを見ること。
福岡出身のあの人!! (紹介: 廣寄一馬)



お楽しみに!

創立45周年記念

鼓童 ワン・アース・ツアー

2026

「遙か」



3月末、山本源太夫社中の方々に稽古をつけていただく三浦と地代

構成:坂本実紀、編集部

写真:平田裕貴

浅草を皮切りに全国を巡る記念公演のテーマは「祝福」。
目指すのは、観客と演奏者の熱が混ざり合い、一緒に面白さを
体感できる舞台。「演奏者たちのあふれ出す人間力から生まれ
るポジティブな気持ちやエネルギーを受け取ってもらいたい」
そう語る、演出の平田裕貴に2つの見どころを聞いた。

『彩』を本編で

ひとつめは『彩』だ。アンコール
曲のイメージが強いが、今回は本
編の中で演奏する。平田は、作曲し
たレナード衛藤さんに改めて話を
聞きたいと連絡をとった。

「レナードさんが『彩』の前に作っ
た『族』は、みんなが一つになっ
てたける、みんなで乗れるアース・
セレーションのテーマのよう
な曲です。それに対して『彩』では、
ジャズのようなテーマ〜ソロ〜
テーマというシンプルな構成で即
興を活かせる曲を目指した。その
頃演出をしていた山口幹文の『各
パートのスペシャリストを作った

い』という意向もあり、グルーブの
方向性とも合致すると思った、と
話してくださいました」

当時の完全復刻を考えていた
平田だったが、ジャズのようにテー
マをもった上で、各自が自由に動
くという誕生当初の発想を活か
し、今のメンバーの個性やクセが
光る令和版の『彩』を目指す。

信頼の絆が魅せる 技の新演目

もうひとつの見どころは、伊勢
大神楽の曲芸を取り入れた新演
目だ。「伊勢大神楽は江戸時代か
ら伊勢神宮に直接参拝できない
人たちの代わりに、大神楽師が各

土地に赴き御神符を配り、獅子舞
と曲芸をもって清め祓いを行った
400年以上続く旅する神事芸
能です。祈りは同時に祝福でもあ
ると私は考えていて、各地の人々
に届け続ける伊勢大神楽を、『祝
福』がテーマである今回の公演の
象徴にしたいと考えました」

伊勢大神楽には演者が手と手
を取り合い、連携し合うような
シーンも多く、信頼や絆の上に
成り立つ。華やかで目を引く分、
難易度も非常に高い芸能だ。

「実は、最初の出会いは、僕が中学
生の頃でした。当時、鼓童のメン
バーだった堀つばささんと現在は
スタッフの新井武志の二人による
『魁華』という伊勢大神楽を取り
入れた演目を客席で見て、とても
印象に残っていたんです」

演出も手掛けるようになった
平田には、いつか自分の作品の中
で挑戦したいという思いがあった。
2023年、不思議な出来事が
あった。ツアーの最中、北陸の喫茶
店で中込健太が出会って仲良く

なった方が、偶然にも伊勢大神楽
の社中の方だった。その話を聞いた
平田の中に、伊勢大神楽に挑戦
したい思いが再燃。今回の45周年
を祝う舞台の象徴的なパートに
なり得ると考え、中込にご縁をつ
なげてもらい、伊勢大神楽を指導
いただけることになったのだ。

実際に、伊勢大神楽の社中の皆
さんの姿を目の当たりにして平田
が感じたのは、下で担ぐ人と、上
に乗る人、二人の信頼関係の大切さ。
鼓童ならこの二人だと、三浦康暉
と地代純に新演目を託した。現地
に伺って稽古をつけていただき信
頼の絆にさらに磨きがかかった。
曲芸の要素のあるインパクトの強
い新演目に注目してほしい。

太鼓の音で、 心をひとつに

鼓童が佐渡から太鼓を運び、各
地の公演で生の音を届けるという
行為に、平田は何を感じているの
か。「実はあるイベント出演に向
け、ベートーヴェンの『第九』を調べ
ていました。この曲は理想の明る
い世界を得るために、いろんな境
遇の人たちが手と手を取り合って
実現していこうというメッセージ
を歌っています。『遙か』は最初
は終始明るい公演を想定していま
したが、このストーリーに影響さ
れて、ただ明るくだけでなく、理想
郷を皆で掴みに行くという流れに
変更して構想中です。太鼓という
象徴がそこにあり、それをみんな

で囲み、共有する空間や時間があ
ることこそが、大きな価値がある
と思うんです。観客と演奏者の心
がひとつになる尊い瞬間を共有で
きると嬉しいですね」

新しい演目や、久しぶりの演目
の意外な演出でも会場の熱が高
まるだろう。鼓童の過去を踏まえ
た現在の音で、未来に繋がる45年
目の舞台の幕が上がる。



YouTube[PV]
鼓童「遙か」
Kodo "Elysian"

公演情報はp.10-11をご覧ください。



浅草 & 全国ツアー開催!
公演情報はこちら

Photo: Takashi OKamoto, Kota Yoshida

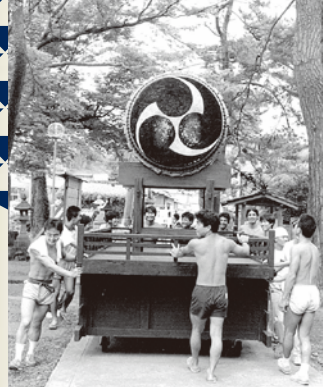
コラム
くらす
まなぶ
つくる

第21回

「小木祭り太鼓」
祭りのために生まれた曲が、鼓童と小木の人々を繋ぐ

構成 坂本実紀
写真 太田順一、鼓鈴の会、鼓童

EC(アース・セレブレーション)が終わった8月末に開催される「小木港祭り」では、いつもとちょっと違う鼓童が見られる。派手なダボシャツや浴衣など思い思いの衣装に身を包み、人々が再会を喜び、祭り人となって年齢や立場の枠を超えて太鼓をたたき鳴らしていく。この光景は、祭りで生まれたひとつの曲から繋がってきたものだ。



「小木祭り太鼓」の誕生

鼓童が初めて小木港祭りに参加したのは1987年。真野から小木に拠点を移す前年のことだ。

初参加の年は屋台に載せた大太鼓が木崎神社から港まで町なかを練り歩く一方、二艘の小船に乗ったメンバーが演奏しながら小木港へ登場。そこで上陸し演奏するという凝った演出だった。鼓童は8月28日の「宵宮」に参加。藤本吉利はそこで初めて小木の町の雰囲気、人、祭りの熱に触れる。

翌年の1988年、藤本は「鼓童のためだけの曲じゃなくて、小木の人たちと一緒にたたける曲を作りたい」と「小木祭り太鼓」を作曲した。

「数少ない、自分が作曲した曲です。締め太鼓で地を打ってその上に音を乗せていく形で、祭りのノリに合うようにしました。最後の部分が少し独特で、自分にとってはごく自然なリズムなんだけど、初めて打つ人には覚えるのがちょっと難しいとよく言われます」(藤本)

祭りに参加するための屋台も製作。現在も行っている形に近い、町なかを門付して回るスタイルになった。「普段は舞台上で演奏しているので、祭りの現場では少しお酒も入り、リラックスした中でたたくのが初めての経験だったんです。ものすごく盛り上がりましたよ」(藤本)

町民と鼓童の距離を縮めた「小木祭り太鼓」

現在、小木港祭りは8月末の土日に開催。佐渡の夏の終わりを彩る花火大会や、小木町内の各所で門付が行われる。当初は、小木祭り太鼓を打ってまわるほかは、小獅子舞などの地元の芸能を見たり、小木おけさの輪踊りにまぜていただく程度だったが、町の方々と繋がりが深まるにつれて、神輿と一緒に担いだり、佐渡鬼剣舞やサンバなどの任意団体が立ち上がり、参加させていただくようにもなった。

「私が初めて参加したのは、研修生だった1989年です。当時鼓童は『舞台の人』として見られがちでしたが、祭りに出ること地域の人と仲良くなり、いろんな繋がりができました。お祭りは、みんながひとつになれる場だと思うんです。そういう意味でも小木祭り太鼓はすごく大事な曲ですね」(見留知弘)

この祭りの門付に参加するために結成されたのが鼓童内の任意団体の「祭り太鼓の会」だ。現在は新井武志を中心に運営している。町の方々のECへのご協力のお礼も込めて、鼓童メンバーはもとより、事前に太鼓を練習して参加するスタッフも多い。

「この曲があることで、祭りには舞台のメンバーやスタッフも参加するし、鼓童を離れた人や佐渡に残っている人たちも祭りに戻ってきて、また交わる。そんな人をつなぐ曲になっているのは、やっぱりうれしいですね。みんな、楽しくやってくれていると思いますよ」(藤本)

参加する中で独特の文化も学んだ。門付して芸を披露すると「お花(ご祝儀)」をいただくが、祭りの翌日「お花御礼」と大きく書いた半紙を町の日立つところに掲示する団体があつた。

「祭りに参加する中でそういう習慣があることを教えてもらってやっていたのだけど、そのうちに僕が絵を描いた手ぬぐいを作ってさつと渡せるようにしました」(藤本)

手ぬぐいは今も、年ごとに色を変えて用意をしている。中には手ぬぐいを暖簾のように何枚も飾ってくれている家もある。長年の繋がりが垣間見えるうれしい光景だ。



小木のまちに根付いた「小木祭り太鼓」

この曲は現在も、祭りはもちろん、鼓童の研修所や小木の各所でも打たれている。

「鼓鈴(これい)の会」も歴史が長い。鼓童のメンバーが小木の人たちに太鼓を教える流れで1991年にできた太鼓団体だ。毎年、小木港祭りへの参加に加えて、近年は小木港に寄港したクルーズ船の見送りなどでも太鼓を披露している。また、今年のECでは門付を行う予定だ。

また、小木の小学校では、ある時期から授業の一環としてこの曲を学ぶようになった。「小木祭り太鼓」は、小木の人々にとってなじみのあるリズムとしてすっかり定着しているのだ。

鼓童と小木の方々を繋いできた曲が、今や世代や地域も繋いでいる。40年近く小木の町で響き続けている太鼓のある風景が、この夏もやってくる。



鼓童オンラインストアより

45周年ロゴTシャツ発売!

新作Tシャツ発売のお知らせです!

今年は鼓童創立45周年! 記念Tシャツを全国の公演会場およびオンラインストアにて販売いたします。

※一部お取り扱いのない会場もございますのでご了承ください。



発売:5月中旬予定

価格3,800円(税込) サイズ S、M、L、XL

透けにくい白生地を使用し、45周年ロゴ入りのシンプルで使いやすい一枚です。ぜひこの機会にお買い求めください。

その他、新作グッズも続々登場予定です!どうぞお楽しみに!

■お問い合わせ/鼓童オンラインストア

Tel. 0259-86-3630(販売部) <https://store.kodo.or.jp>



鼓童提供楽曲第8弾「花時はなごき」を公開しました!



春の訪れを感じる高揚感や華やかさをイメージした楽曲です。

楽曲のテーマは「変拍子」。5拍子の楽曲となります。変拍子特有のグルーブ感、その気持ち良さを味わいながら、楽しく取り組んでいただけると幸いです。



鼓童の会会員限定プレゼント

今回は、鼓童「LUMINANCE」ヨーロッパツアーTシャツ(Lサイズ)に、出演メンバーのサインを添えて、1名様にプレゼントします!



■申込み方法/機関誌アンケートフォーム

または郵送かファクスにてお申し込みください。

■申込み締切/5月29日(金) 必着

6月中の発送をもって当選の発表にかえさせていただきます。

■郵送/〒952-0611 新潟県佐渡市小木金田新田148-1

鼓童の会プレゼント係

■FAX/0259-86-3631

会員ID、お名前、ご住所、電話番号、機関誌のご感想、鼓童へのメッセージをお書き添えの上、「サイン入りツアーTシャツ希望」と明記してお申し込みください。

鼓童の会・会員限定交流企画

今年は、会員の皆様との交流イベントを以下の日程で開催することになりました! 詳細は次号でお知らせいたします。

新潟

■日時:2026年12月12日(土)

■会場:新潟県民会館

東京

■日時:2026年12月19日(土) 10:30~(終了予定11:30)

■会場:文京シビックセンター 地下1階・多目的室

研修生募集

今年は「太鼓芸能集団 鼓童」メンバー養成コース研修生の募集を再開します。書類選考を経て、研修所で実地面接による選考を行います。

■応募資格/太鼓芸能集団「鼓童」のメンバーになることを希望する人、および太鼓を通して社会に貢献する目標を持つ人。

【鼓童のメンバーになることを希望する人】

研修期間:2027年4月~2029年1月(1年10ヶ月)

対象年齢:原則として18歳以上27歳以下(2027年4月1日現在)

【太鼓を通して社会に貢献する目標を持つ人】

研修期間:2027年4月~2028年1月(鼓童メンバー養成コースと同じ研修内容で、1年次のみ10ヶ月間)

対象年齢:原則として18歳以上30歳以下(2027年4月1日現在)

■実地面接日程(1泊2日)

2026年10月31日(土)~11月1日(日)

※実地面接は上記日程の1回のみです。

なお、本年は「夏の体験入所企画」の開催予定はありません。

体験入所を希望される方は、個別にお問合せください。

■応募締切/9月30日(水)

詳しくは鼓童ウェブサイトをご覧ください。

www.kodo.or.jp/apr



機関誌アンケート

今回の機関誌はいかがでしたでしょうか?

ご意見、ご感想をぜひお聞かせください。

(「鼓童の会」会員は、このフォームからプレゼントも合わせてお申し込みいただけます。)



機関誌・発送方法の変更について

機関誌の受け取りをメールに切り替え可能な方を募集しております。多くの皆様よりご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

フォームで回答いただいた方には、次号(2026年8月11日発行予定)より、PDFファイルのダウンロード用URLをメールにてお送りさせていただきます。

郵送先の変更等、送付停止等についても同じフォームからご連絡いただけます。



『鼓童ワン・アース・ツアー2026「遙かー」国内ツアー全情報チラシ』
根室公演の金額に誤りがありました。

根室市民一般 (誤) 5,500円→(正) 5,000円

今月の付録

- 鼓童ワン・アース・ツアー2026「遙かー」国内ツアー全情報チラシ
- 創立45周年記念「鼓童十二月公演2026」全情報チラシ
- 「佐渡両津 鼓童 夏の公演2026」チラシ
- 小島千絵子ゲスト出演「ひらく」公演チラシ
- 鼓童人物名鑑2026
- 鼓童文化財団「年次報告・計画書2025-2026」
- 郵便振替用紙
- リサイクル募金「きしゃぼん」チラシ

最新情報は鼓童サイトをご確認ください。

※U25等の表記は、鑑賞時にその数字の年齢以下の方を対象とするチケットです。

鼓童公演・特別公演

鼓童ワン・アース・ツアー2026

5/17(日) 静岡県磐田市 発売中

■磐田市民文化会館「かたりあ」 ■16:00開演
■一般5,000円、高校生以下2,000円(助成により特別価格)
☎磐田文化振興会 Tel. 0538-37-8551

5/19(火) 群馬県甘楽町 発売中

■甘楽町文化会館 ホール ■18:30開演
■一般5,800円、高校生以下3,000円
☎甘楽町文化会館 Tel. 0274-74-7000

5/21(木) 東京都立川市 発売中

■たましんRISURUホール
(立川市市民会館) 大ホール ■18:30開演
■一般6,500円、U25 3,000円
☎鼓童チケットサービス Tel. 0259-86-2330

5/23(土) 千葉県旭市 発売中

■千葉県東総文化会館 大ホール
■14:00開演 ■一般6,500円、U25 3,000円
☎鼓童チケットサービス Tel. 0259-86-2330

5/24(日) 埼玉県三郷市 発売中

■三郷市文化会館 大ホール
■15:30開演 ■一般6,500円、U25 3,000円
☎三郷市文化会館 Tel. 048-958-9900
鼓童チケットサービス Tel. 0259-86-2330

5/30(土) 宮城県大河原町 発売中

■えずこホール(仙南芸術文化センター)
大ホール ■13:00開演
■一般6,000円、U24 3,000円
☎えずこホール Tel. 0224-52-3004

5/31(日) 福島県いわき市 発売中

■いわき芸術文化交流館アリオス
アルパイン大ホール ■14:00開演
■一般6,000円、U25 3,000円、
ファミリーエリア(2階席限定、4歳から入場可)
おとな5,000円、こども1,500円(4歳～小学生)
☎鼓童チケットサービス Tel. 0259-86-2330

鼓童浅草公演2026「遙かー」★

6/24(水)-28(日) 東京都台東区 発売中

■浅草公会堂
■24、25、26日 14:00開演
27、28日 11:00/15:00開演(2回公演)
■S席7,500円、A席5,500円、U25 3,500円
☎チケットスペース Tel. 03-3234-9999

鼓童ワン・アース・ツアー2026 「遙かー」

7/4(土) 福岡県福岡市 発売中

■福岡市民ホール 大ホール ■15:00開演
■一般7,000円、U25 3,000円
☎BASE CAMP Tel. 092-406-7737

7/5(日) 鹿児島県鹿児島市 発売中

■宝山ホール ■15:00開演
■全席指定7,000円、U25 3,000円
(U25は当日指定席座席券交換・要身分証)
※当日券は全て7,500円
☎鹿児島音協 Tel. 099-226-3465

7/8(水) 愛媛県宇和島市 発売中

■コスモスホール三間 ■18:30開演
■S席6,500円、A席5,500円 ※残席僅少
☎太鼓集団 宇宙(そら) 田中繁幸
Tel. 090-2782-4792

7/12(日) 山口県下関市 発売中

■下関市菊川ふれあい会館アブニール
■15:30開演
■S席6,500円、A席6,000円、B席5,500円
☎鼓童きくわ公演実行委員会 笹山
Tel. 090-4692-5217

7/16(木) 大阪府大阪市

■新歌舞伎座 ■14:00開演
■全席指定7,500円、U25 3,500円
5/20(水) チケット発売
☎新歌舞伎座 Tel. 06-7730-2222

7/18(土)-19(日) 京都府京都市 発売中

■京都芸術劇場 春秋座 ■13:00開演
■特典付きプレミアム席12,000円(席数限定)
一般6,500円、学生&ユース3,000円
☎京都芸術大学 舞台芸術研究センター
Tel. 075-791-9207

7/20(月・祝) 和歌山県新宮市 発売中

■丹鶴ホール ■15:30開演
■S席6,000円、A席5,000円、B席(2、3階)
4,000円
☎かまん・くまの Tel. 0735-22-4339
(関三吉商店内)

7/24(金) 新潟県新発田市

■新発田市民文化会館 ■18:30開演
■松7,500円、竹6,500円、U22 3,500円(竹席
エリア内) 4/24(金) チケット発売
☎KODO イン シンバ Tel. 090-5434-3185
小柳(9:00～18:00)

9/12(土) 大阪府枚方市

■枚方市総合文化芸術センター 本館
関西医大 大ホール ■15:00開演
■A席5,500円、B席4,000円 5/21(木) チケット発売
☎枚方市総合文化芸術センター Tel. 072-845-4910

9/13(日) 兵庫県養父市

■養父市立ビバホール ■15:00開演
■鼓童グッズ付きスペシャルチケット5,800円、
一般4,000円 5/20(水) チケット発売
※ビバホール友の会 各前売りチケット 500円引き
☎養父市立養父公民館 Tel. 079-664-1141

9/16(水) 広島県広島市

■JMSアステールプラザ 大ホール
■18:30開演 ■一般7,000円、U25 3,000円
6/13(土) チケット発売
☎TSSイベント事務局 Tel. 082-253-1010

9/19(土) 石川県白山市

■松任文化会館ピーノ
■開演時間・チケット発売日 調整中
■一般7,000円、高校生以下3,500円
☎鼓童チケットサービス Tel. 0259-86-2330

9/22(火・祝) 三重県松阪市

■クラギ文化ホール(松阪市民文化会館)
■13:00開演 ■一般6,000円、U25 3,000円
6/5(金) チケット発売
☎三重公演実行委員会 Tel. 080-5124-4914(松本)

9/23(水・祝) 愛知県一宮市

■一宮市民会館 ■16:00開演
■一般7,000円、U25 3,500円
6/2(火) チケット発売
☎中京テレビクリエイション Tel. 052-588-4477
(平日11:00～17:00/土・日・祝休業)

10/3(土) 北海道札幌市

■札幌コンサートホール Kitara ■13:00開演
■7,000円 7/3(金) チケット発売
☎道新プレイガイド Tel. 0570-00-3871

10/4(日) 北海道留萌郡小平町

■小平町文化交流センター ■15:30開演
■料金未定 7/1(水) チケット発売
☎小平町文化交流センター Tel. 0164-56-9500

10/9(金) 北海道苫小牧市

■苫小牧市民センター グランドホール ■18:30開演
■一般5,800円、小中高生2,000円(予定)
7/3(金) チケット発売(予定)
☎鼓童チケットサービス Tel. 0259-86-2330

10/12(月・祝) 北海道根室市

■根室市総合文化会館 大ホール ■14:00開演
■一般6,000円、学生2,500円、根室市民一般
5,000円、根室市民学生1,500円
6/22(月) チケット発売
☎根室市総合文化会館事業協会事務局
Tel.0153-24-3188

10/16(金)-17(土)北海道富良野市

富良野演劇工場

16日 19:00開演、17日 14:00開演

特典付き特別チケット5,800円、一般5,000円
(当日500円増)、演劇工房会員4,500円、
小中高生 2,500円 8月上旬チケット発売
※特典付き特別チケット以外は自由席

☎ 富らの演劇工房 Tel. 0167-39-0333

10/18(日)北海道幕別町

幕別町百年記念ホール 15:30開演

5,800円 6/19(金)チケット発売予定

☎ 幕別町百年記念ホール Tel. 0155-56-8600

先

鼓童×東京フィルハーモニー交響楽団 「モノプリズム」指揮:下野竜也

9/5(土)東京都文京区

発売中

文京シビックホール 大ホール 16:00開演

SS席14,000円、S席11,000円、A席7,000円、
B席3,500円

☎ チケットスペース Tel. 03-3234-9999

助成:公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション

公益財団法人 三菱UFJ信託芸術文化財団

公益財団法人 花王 芸術・科学財団

アース・セレブレーション2026

8/21(金)-23(日)新潟県佐渡市

ハーバーコンサート、ワークショップなど

詳細は機関誌裏表紙、EC公式サイトをご覧ください。

☎ 鼓童チケットサービス Tel. 0259-86-2330

鼓童十二月公演2026★

12/6(日)新潟県佐渡市

アミューズメント佐渡 大ホール 13:30開演

SS席6,000円、S席5,500円、A席4,000円、
B席3,000円

ファミリー席 大人2,500円、子ども1,000円

※ファミリー席の子どもは4歳~小学生が対象

※ファミリー席は2階席をご案内

9/11(金)チケット発売

☎ 鼓童チケットサービス Tel. 0259-86-2330

12/12(土)-13(日)新潟県新潟市

先

新潟県民会館 大ホール 14:00開演

S席7,000円、A席6,000円

7月下旬チケット発売予定

☎ TeNYチケット専用ダイヤル Tel. 025-281-8000
(平日 10:00~17:30)

新潟県民会館 Tel. 025-228-4481

12/17(木)-20(日)東京都文京区

先

文京シビックホール 大ホール 14:00開演

SS席9,000円、S席7,800円、A席6,000円、
U25 3,000円 9/13(日)チケット発売

☎ 鼓童チケットサービス Tel. 0259-86-2330

※今年の十二月公演は佐渡、新潟、文京の3会場のみの開催となります。

鼓童交流公演

ぶんきょう交流公演

7/25(土)東京都文京区

発売中

文京シビックホール 小ホール

14:00開演(90分公演)

3,000円 ※5歳から入場可

☎ シビックチケット Tel. 03-5803-1111

同日開催「親子で楽しむ太鼓ワークショップ」

11:15~12:00

※チケット購入の親子対象。詳細は文京アカデミーのホームページをご参照ください。

☎ 文京アカデミーホール事業係

Tel. 03-5803-1103(平日9:00~17:00)

7/26(日)東京都国立市

FSXホール(くにたち市民芸術小ホール)

14:00開演(60分公演)

おとな3,000円、おとなペア券5,000円、こども
(3歳~小学生)1,000円 ※3歳未満入場不可
5/19(火)チケット発売予定

☎ FSXホール(くにたち市民芸術小ホール)

Tel. 042-574-1515

9/26(土)-27(日)埼玉県入間市

入間市産業文化センター 14:00開演

一般4,800円、U25 3,000円 ※4歳から入場可
6/19(金)チケット発売

☎ 鼓童チケットサービス Tel. 0259-86-2330

小編成公演

佐渡両津 鼓童 夏の公演★

7/18(土)-26(日)新潟県佐渡市

発売中

※7/21(火)-24(金)休演

あいばーと佐渡

10:30/14:00開演(2回公演)

大人(中学生以上)3,000円、小学生500円
未就学児無料 全席自由

☎ 鼓童チケットサービス Tel. 0259-86-2330

鼓童<KODO>2026 小田原・箱根公演

9/23(水・祝)神奈川県小田原市

先

小田原三の丸ホール 大ホール

13:30開演

S席5,000円、A席4,500円、A席U18 3,500円
6月上旬チケット発売

出演:鼓童、相洋高校和太鼓部

☎ 湘南アート&カルチャー共創プロジェクト実行委員会

odawara.sac@gmail.com

佐渡小木 鼓童 秋の公演★

10/10(土)-18(日)新潟県佐渡市

※10/13(火)-16(金)休演

マリンプラザ小木 10:30/14:00開演(2回公演)

大人(中学生以上)3,000円、小学生500円

未就学児無料 全席自由

7/15(水)チケット発売

☎ 鼓童チケットサービス Tel. 0259-86-2330

鼓童×KURAGE Band 特別公演「たゆたう」

10/24(土)新潟県新潟市

先

りゅーとぴあ 劇場 11:00/15:00開演

全席指定5,800円

障害者割引5,000円(入場時 要障害者手帳提示)
こども券2,900円(対象は4~6才)※こども券
は予定枚数終了次第すべて一般料金での
販売となります。7月下旬チケット発売予定

☎ TeNYチケット専用ダイヤル

Tel. 025-281-8000(平日 10:00~17:30)

ゲスト出演・ソロ活動

各務原太鼓保存会 20周年記念公演

6/14(日)岐阜県各務原市

プリニーの市民会館(各務原市文化会館)大ホール

13:00 開演 入場無料、全席自由

☎ 実行委員長 早川 Tel. 090-7864-5680

小島千絵子ゲスト出演

ひらく~山守の民「草草人」

7/18(土)長野県上田市

サントミュージゼ 14:30開演

一般4,000円、高校生まで3,000円

当日500円増し

☎ ひらくプロジェクト(加藤) Tel. 090-3321-0823

hiraku.project.nagano@gmail.com

中村達也 × 中込健太

6/19(金)東京都杉並区

発売中

高円寺HIGH 19:30開演

6/21(日)大阪府大阪市

NOON+CAFE 16:30開演

一般5,000円、高校生以下3,000円

全席スタンディング、別途1ドリンク料金、
整理番号順入場

☎ 井関 Tel. 080-5021-1789



鼓童の会チケット先行予約のご案内

先

印のある公演は先行予約があります。会員の皆様は先行予約申込み
用紙を同封しております。お申し込み方法はそちらをご確認ください。



アース・セレブレーション2026

8月21日(金)～23日(日)開催!

メインイベント「ハーバーコンサート」には、EC初の招聘国となるモンゴルから民族音楽グループ「フスグトゥン」、そしてEC2021の無観客配信以来、単独ゲストとしては初の「三宅島芸能同志会」をお迎えして、熱く、心躍るステージをお届けします。

また、今年のプレミアムシート特典はCHUMSとの限定コラボグッズが登場! ハーバーコンサートの1日ごとにアイテムがかわります。

その他にも多彩なワークショップや体験、フリンジなどの無料イベント、美味しさや個性あふれる各マーケットなど、3日間思いっきり満喫いただけるプログラムが勢揃い。



夏の光あふれる佐渡で、皆さまのお越しをお待ちしています!



詳細はEC公式サイトをご覧ください。

チケット一般発売 5/15(金)



最新情報は、[ウェブサイト](#) [SNS](#) [メルマガ](#) をご覧ください。

鼓童 検索 <https://www.kodo.or.jp>

[f @KodoHeartbeat](#)

[X @KodoHeartbeat](#)

[@kodoheartbeat](#)

[@kodoheartbeat](#)

[@kodoheartbeat](#)

その他、鼓童へのお問い合わせはこちらへ [Tel. 0259-86-3630](tel:0259-86-3630)(代)(月～金 9:30～17:00) [Fax: 0259-86-3631](tel:0259-86-3631) 次号は2026年8月10日の発行を予定しています。

KODŌ vol. 402

鼓童 2026年5月10日発行(年4回 2月/5月/8月/11月) ©発行/鼓童 〒952-0611新潟県佐渡市小本金田新田148-1
Tel. 0259-86-3630 Fax: 0259-86-3631 Email: heartbeat@kodo.or.jp <https://www.kodo.or.jp>
©発行責任者/五十嵐実 ©企画・構成/(公財)鼓童文化財団 ©デザイン・編集・印刷/(株)DI Palette
©郵便振替/00690-9-25829(公財)鼓童文化財団 年間購読料4,000円(送料/購読料は会費に含まれます)